

「庄内海岸林再生プロジェクト会議」設立趣意書

庄内海岸林は、江戸時代以来、飛砂や風害から人々の暮らしや農地を守るため、先人たちの不断の努力と工夫によって造成・維持されてきた歴史ある人工林です。日本海からの強風や飛砂等の自然災害に対する防災機能を担うとともに、現在では多様な生態系や庄内らしい景観を形成し、地域にとって欠かすことのできない存在となっています。

しかしながら、近年、松くい虫被害が激甚化し、過去にない被害量となり、先人が築き上げてきた海岸林を、将来世代へ引き継ぐことが極めて難しい局面を迎えています。

こうしたことから、歴史的背景を踏まえつつ、新たな知見や技術を取り入れた維持・再生に地域が一体となった取組みを進めるため、行政、地元関係団体、研究機関などが連携し、現状と課題を共有しながら次の事項について検討・実践する場として、「庄内海岸林再生プロジェクト会議」を設置するものです。

- 1 海岸林の再生と保全に向けた取組方針や実行計画
- 2 多様な主体の協働による持続的活動を支援する仕組みづくり

令和8年3月27日

庄内海岸林再生プロジェクト会議

設立代表者

山形県知事 吉村 美栄子